

欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)

<愛称: グラン・マルシェ>

設定日: 2014年8月19日

償還日: 2029年5月15日

決算日: 原則毎月15日

収益分配: 決算日毎

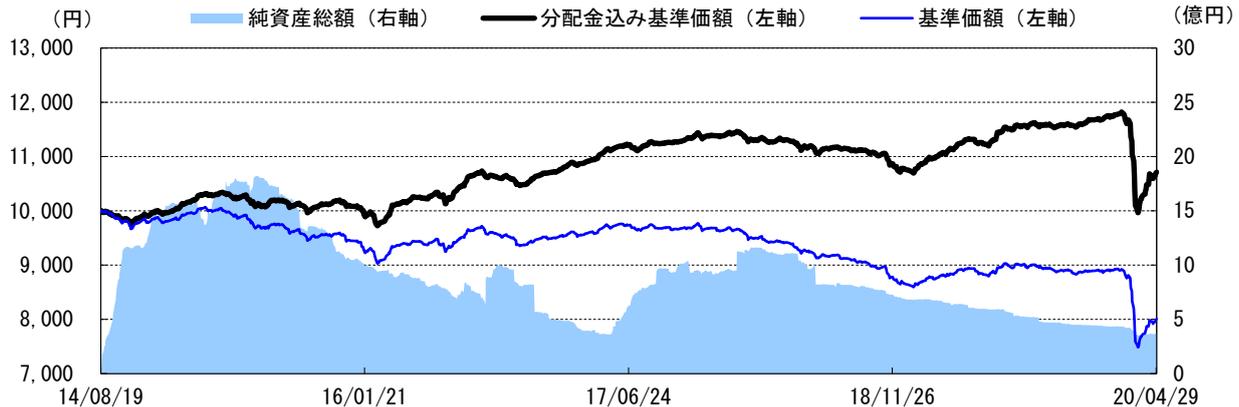
基準価額: 8,006円

純資産総額: 3.68億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、
 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<資産構成比率>

ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド・クラスA	97.1%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
4.77%	-8.74%	-7.42%	-5.33%	-2.94%	7.13%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	19・5・15	19・6・17	19・7・16	19・8・15	19・9・17
2,720円	480円	40円	40円	40円	40円	40円
19・10・15	19・11・15	19・12・16	20・1・15	20・2・17	20・3・16	20・4・15
40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	7,680円
当月お支払いした分配金	-40円
要	
インカムゲイン	26円
キャピタルゲイン	429円
為替要因（為替ヘッジコスト/プレミアム要因を含む）	1円
因	
信託報酬・その他	-91円
当月末基準価額	8,006円

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)

<愛称: グラン・マルシェ>

設定日: 2014年8月19日

償還日: 2029年5月15日

決算日: 原則毎月15日

収益分配: 決算日毎

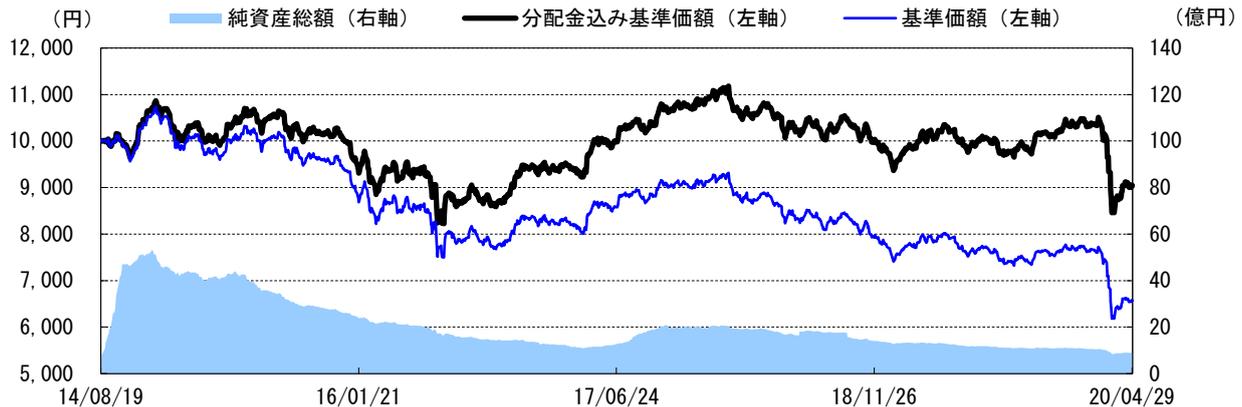
基準価額: 6,571円

純資産総額: 8.94億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、
 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<資産構成比率>

ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド・クラスB	97.0%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
2.59%	-12.39%	-11.13%	-11.20%	-6.64%	-9.55%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	19・5・15	19・6・17	19・7・16	19・8・15	19・9・17
2,720円	480円	40円	40円	40円	40円	40円
19・10・15	19・11・15	19・12・16	20・1・15	20・2・17	20・3・16	20・4・15
40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	6,444円
当月お支払いした分配金	-40円
要	
インカムゲイン	22円
キャピタルゲイン	358円
為替要因	-152円
因	
信託報酬・その他	-60円
当月末基準価額	6,571円

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド

※日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供された情報です。
 ※以下は当外国投資信託における数値です。比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<通貨別構成比率>

通貨名	比率
ユーロ	73.0%
イギリスポンド	27.0%
日本円	0.0%
アメリカドル	0.0%

<国別構成比率>

国名	比率
イギリス	21.6%
ドイツ	18.9%
フランス	12.8%
オランダ	8.4%
アメリカ	7.5%
その他	30.8%

<業種別構成比率>

業種	比率
金融	30.0%
通信	18.2%
生活必需品	15.5%
一般消費財	8.8%
公益	7.1%
その他	20.3%

<格付別構成比率>

AAA	0.0%
AA	0.0%
A	6.4%
BBB	49.1%
BB	31.7%
B以下	9.8%
平均格付	BBB

※格付は、S & Pを採用しています。なお、格付を取得していない場合は、日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが付けた格付を採用しています。
 ※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<ポートフォリオの特性値>

直接利回り	3.79%
最終利回り	3.90%
デュレーション	4.97年

※利回りは、個別債券について加重平均したものです。
 ※最終利回りは、債券を次回早期償還日もしくは満期日まで保有した場合の利回りです。
 ※利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。
 ※デュレーションは、次回早期償還日を考慮した値です。

<組入上位10銘柄> (組入銘柄数：87銘柄)

	銘柄	通貨名	利率(%)	償還日	次回早期償還日	格付	比率
1	Lloyds Bank plc	イギリスポンド	13.000	(永久債)	2029年1月22日	BBB	3.2%
2	E-netz Sudhessen AG	ユーロ	6.125	2041年4月23日	-	BBB	2.1%
3	Virgin Media Secured Finance Plc	イギリスポンド	4.250	2030年1月15日	2024年10月15日	BB	2.0%
4	Royal KPN NV	イギリスポンド	5.750	2029年9月17日	-	BBB	2.0%
5	Electricite de France SA	ユーロ	4.000	(永久債)	2024年7月4日	BBB	1.9%
6	Telefonica Europe BV	ユーロ	4.375	2025年3月14日	2024年12月14日	BB	1.9%
7	CBR Fashion Finance BV	ユーロ	5.125	2022年10月1日	2020年5月11日	B	1.9%
8	Telecom Italia Mobile SpA	ユーロ	2.875	2026年1月28日	2025年10月28日	BB+	1.9%
9	Bilfinger SE	ユーロ	4.500	2024年6月14日	2024年3月14日	BB	1.8%
10	Teva Pharmaceutical Finance Netherlands II BV	ユーロ	0.375	2020年7月25日	-	BB	1.8%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※格付は、S & Pを採用しています。なお、格付を取得していない場合は、日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが付けた格付を採用しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント ※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

4月の円/ユーロ相場は、前月末比で円高/ユーロ安となりました。欧州と米国で新型コロナウイルスの感染拡大のペースが鈍化するとの期待などからリスク回避の円買いが控えられる局面もあったものの、ユーロ圏消費者信頼感指数やユーロ圏購買担当者景気指数（PMI）などが市場予想を下回ったことでユーロ圏の厳しい経済環境が長期化すると懸念が強まったことや、欧州連合（EU）首脳会議で新型コロナウイルスの影響に対する経済再建案の詳細で合意に至らなかったことなどから、円高/ユーロ安の展開となりました。

イギリスポンドは、欧州や米国において新型コロナウイルスの感染拡大のペースが鈍化するとの期待などからリスク回避の円買いが和らぎ、対円で上昇する局面もみられたものの、英国の4月製造業購買担当者景気指数（PMI）や3月小売売上高などの経済指標が市場予想を下回り英国の景気減速に関する懸念が高まったことなどから、円に対して下落しました。

ノルウェークローネは、ノルウェーの小売売上高が市場予想を上回ったことや、欧米諸国で新型コロナウイルスの感染拡大のペースが鈍化するとの期待を背景に、リスク回避の円買いが和らいだことなどから、円に対して上昇しました。

スウェーデンクローナは、欧米諸国において新型コロナウイルスの感染拡大ペースの鈍化が期待されたことや、スウェーデンの小売売上高が市場予想を上回ったこと、政策金利を据え置いたスウェーデンの中央銀行が早急な利下げについて否定的な見解を示したことなどから、円に対して上昇しました。

4月の欧州債券市場では、各国の10年国債利回りは前月末比でまちまちの動きとなりました。前半は、新型コロナウイルスの感染拡大のペースが鈍化するとの期待が広がったことや、ドイツの鉱工業生産指数が市場予想を上回ったことなどを受けて、利回りは総じて上昇（債券価格は下落）しました。後半は、ユーロ圏購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を下回り、ユーロ圏の厳しい経済環境が長期化すると懸念が強まったことや、国際通貨基金（IMF）による2020年の世界経済成長見通しが下方修正されたこと、原油価格の大幅下落などを受けて投資家によるリスク回避の動きが強まったことなどから、利回りは総じて低下（債券価格は上昇）しました。

新型コロナウイルスのパンデミックとそれに続く世界規模のリセッション（景気後退）に反応し、第1四半期の相場は多大な影響を受けましたが、当月にはほとんどの資産クラスが大幅な回復を遂げました。新型コロナウイルスへの感染が確認された人の総数は大幅に増え続けていますが、前月に比べれば増加ペースは鈍くなっており、各国政府がロックダウン（封鎖）からの出口戦略に注力することも示唆されていることから、市場は下支えされています。中核国の国債は当月、好調でした。前例のない規模の財政支出を伴う景気刺激策が打ち出されたにもかかわらず、英国債、米国債、ドイツ国債は年初来ペースでトップクラスのパフォーマンスをあげています。しかし、南欧諸国の国債は後れを取っており、イタリア国債は値下がりしました。復興基金の財源をどのように確保するのが最善かという問題について、欧州連合（EU）内での意見がまだ分かれていることと、格付け会社フィッチがイタリアの信用格付けを「BBBマイナス」に引き下げたことなどが、その背景になりました。ユーロ建て社債もかなりの回復を見せ、当月には投資適格債、ハイイールド債ともにプラスのリターンとなりました。上場投資信託（ETF）をめぐる資金の流れが変わり、当月を通じて純流入が続きまし。社債買い入れプログラムの第2弾（CSPP2.0）により、4月24日までの3週間で計37億ユーロのユーロ建て社債が購入されました。いくぶん少なめの数字なのは、過去2週間の社債発行額自体が少なめだったこととも関係しているようです。欧州中央銀行（ECB）公表のデータからは、同行が足元ではパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）による資産買い入れのほうに注意を払っている様子が見えます。PEPPでの資産保有額は4月24日終了の週に260億ユーロもの大幅増となり、前週の増加幅を上回りました。この結果、プログラム設定後の買い入れ総額は970億ユーロにのぼっています。PEPPによる買い入れが過去4週間の平均と同じペースで続けられれば、11月の初めまでに上限の7,500億ユーロに達する可能性が考えられます。

◎運用概況

当月の基準価額は、「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」とともに前月末と比べて上昇しました。当月末時点でポートフォリオに87の発行体の債券を組み入れています。当ファンドは、前月に引き上げた慎重姿勢のレベルを維持しました。ハイイールド債（特にB格のハイイールド債）への投資を減らし、ディフェンシブなポジションを維持しつつ投資資金をさらに分散させました。ディフェンシブな取引の一環として、優良銀行が発行した残存期間の短い社債への乗り換えを実行しました。月初にスプレッドのボラティリティが大幅に高まって社債市場が急落した際に、相対価値が魅力的となった銘柄です。

◎今後の見通し

欧州については、新型コロナウイルスの打撃を欧州で最も受けているイタリアとスペイン以外の国や地域にも拡大し続けており、「低金利が長期間継続する」という見解が、引き続き2020年を通じて、場合によってはそれ以降も適用できると考えています。欧州の大多数の国々は前例のない封じ込め措置を講じており、莫大な経済的コストの発生が避けられないでしょう。ユーロ圏では、不要不急と判断される業界のほとんどがシャットダウンを強いられており、リセッション入りはもはや不可避だと思われます。ユーロ圏が事実上のロックダウンに入ったのが3月後半だったため、第2四半期のGDPがより注目されます。ラガルドECB総裁は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、1,200億ユーロの債券買い入れプログラムを、年末にかけてさらに7,500億ユーロに拡張するという大胆な計画を発表しました。また、流動性の状況を改善する追加措置や、企業や家計への信用供与策が導入されています。一方で、欧州委員会は、財政ルールを適度に緩和すること、EU域内で新型コロナウイルスの被害を受けた地域のために既存の基金を転用することを発表しました。ユーロ圏財務相会合は5,400億ユーロの救済計画を承認しました。長期復興基金については、基金の仕組みと財源について、各国間に意見の相違が残っており、話し合いが続いています。英国では、新型コロナウイルスの世界的な広がりを受け、英国とEUの貿易交渉は棚上げされています。ジョンソン英首相は大規模な財政支援策を発表し、英国企業緊急救済パッケージを打ち出しています。イングランド銀行は3月に政策金利を0.75%から0.1%に引き下げ、資産購入枠を2,000億ポンド拡大して総額6,450億ポンドにするなど、市場の流動性を高める施策を講じました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として、欧州企業が発行する社債*に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。

■ユーロ圏、英国および北欧の欧州先進国企業が発行する社債*を中心に投資を行ないます。

* S&P、ムーディーズまたはフィッチの格付で、投資適格社債だけでなく、BB+格相当以下のハイ・イールド社債にも幅広く投資します。

2. 日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが運用します。

■債券運用において、長年の経験を持つ日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが、当ファンドの主な投資対象である外国投資信託の運用を行ないます。

3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのコースがあります。

■為替変動リスクの軽減を図る「為替ヘッジあり」と、為替変動の影響を直接受けることで、円安時に為替差益が期待される「為替ヘッジなし」の2つのコースがあり、お客様の運用ニーズに応じてお選びいただけます。

※販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

4. 原則として、毎月、収益分配を行なうことをめざします。

■主に、組入債券の利子収入や値上がり益などを原資として、毎決算時に収益分配を行なうことをめざします。

■毎月15日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2029年5月15日まで(2014年8月19日設定)
決算日	毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行いません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・フランクフルト証券取引所の休業日 ・ルクセンブルクの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内

※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

<<ご参考>>

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。
例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のとときに、購入時手数料率3.3%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×3.3%(税込)=33,000円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額1,033,000円をお支払いいただくこととなります。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行えない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対し年率1.663%(税抜1.57%)程度が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.023%(税抜0.93%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.64%程度となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。

その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、**ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額**が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項**○リスク情報**

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・ 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・ 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

- ・ 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・ 一般にハイイールド債券は、上位に格付された債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。

【為替変動リスク】**◆為替ヘッジあり**

- ・ 投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴なうヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。

◆為替ヘッジなし

- ・ 投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行なわないため、当該資産の通貨の対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）（愛称：グラン・マルシェ）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

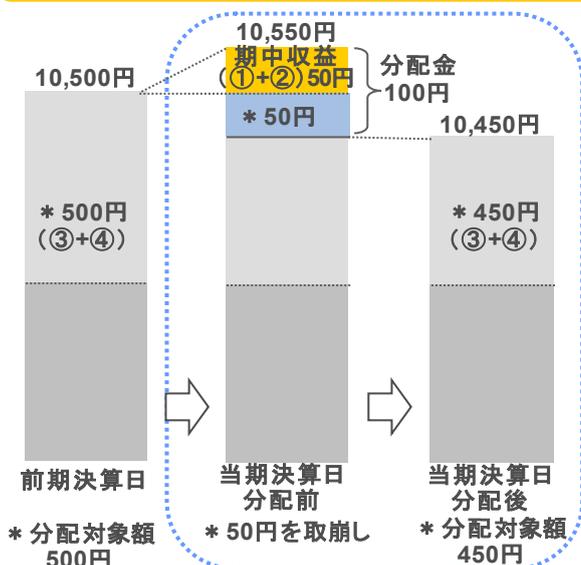
投資信託で分配金が支払われるイメージ



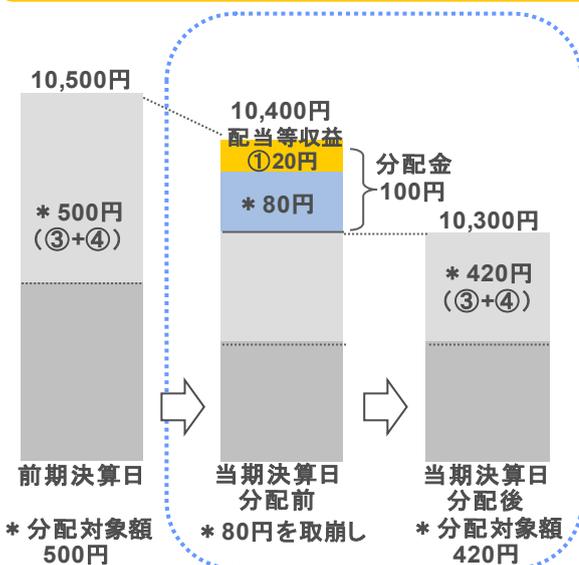
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



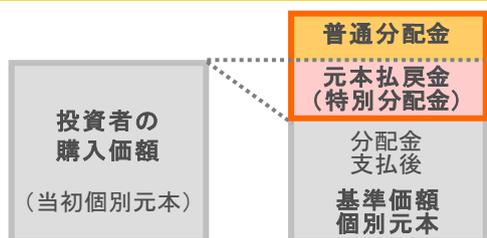
前期決算から基準価額が下落した場合



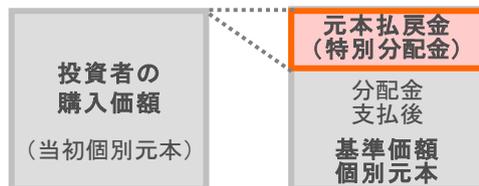
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

- 普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。